

1, 2号機 建屋内滞留水水位計の 設置について

H25年5月30日

東京電力株式会社



東京電力

< 建屋水位計を設置する目的 >

【現状】

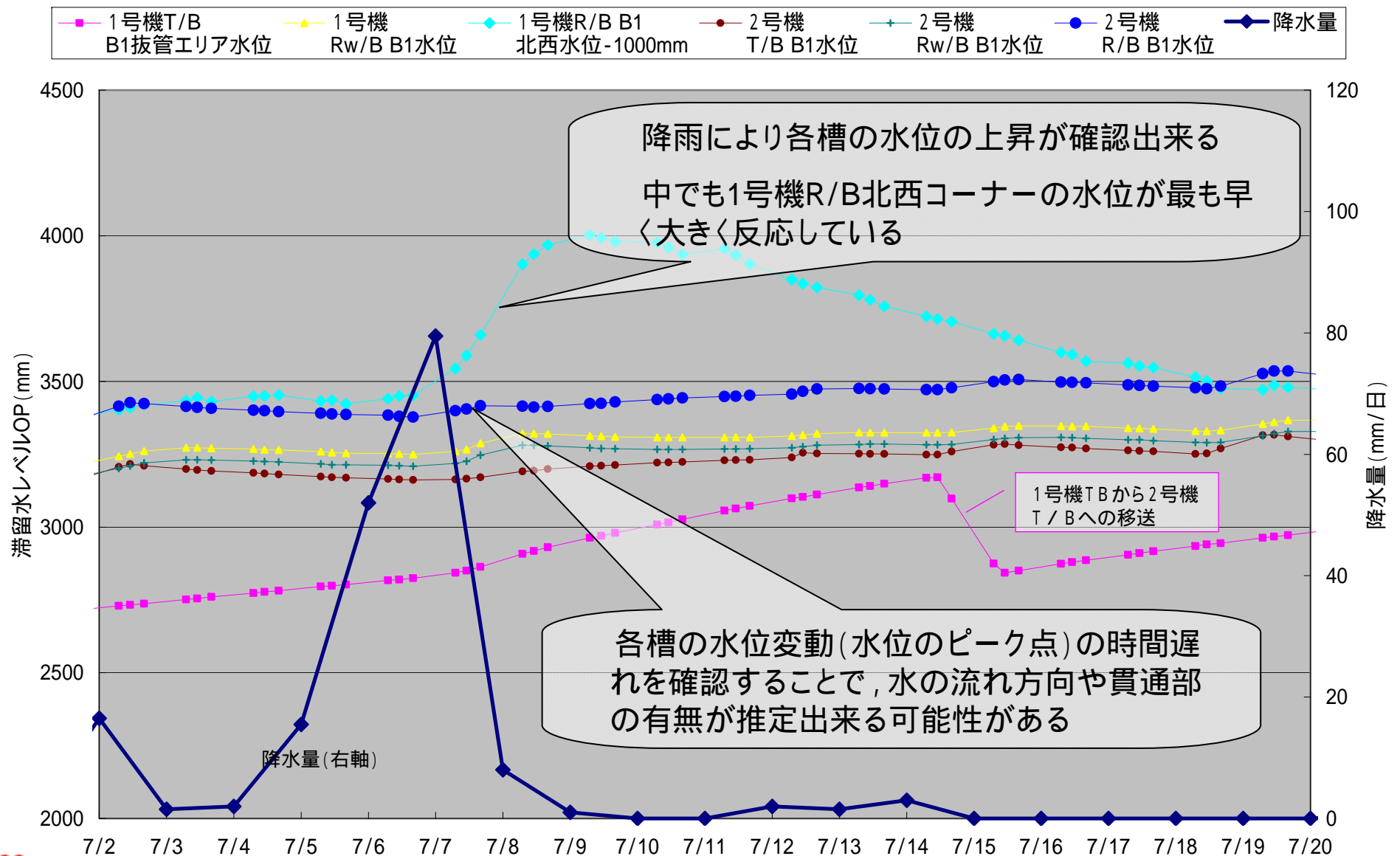
- ・建屋内に約400t/日の地下水流入があると想定しているが、どの号機、どの建屋への流入が支配的であるのかを想定できていない

水位計を設置し連続で水位
データを採取することにより

以下の分析・評価に活用できる

- ・地下水の流入が支配的な号機および建屋の絞り込み
- ・原子炉建屋の各三角コーナーおよびトラス室にて、どの箇所からの地下水流入が支配であるか
- ・建屋内滞留水の挙動(建屋間の流出箇所)の把握

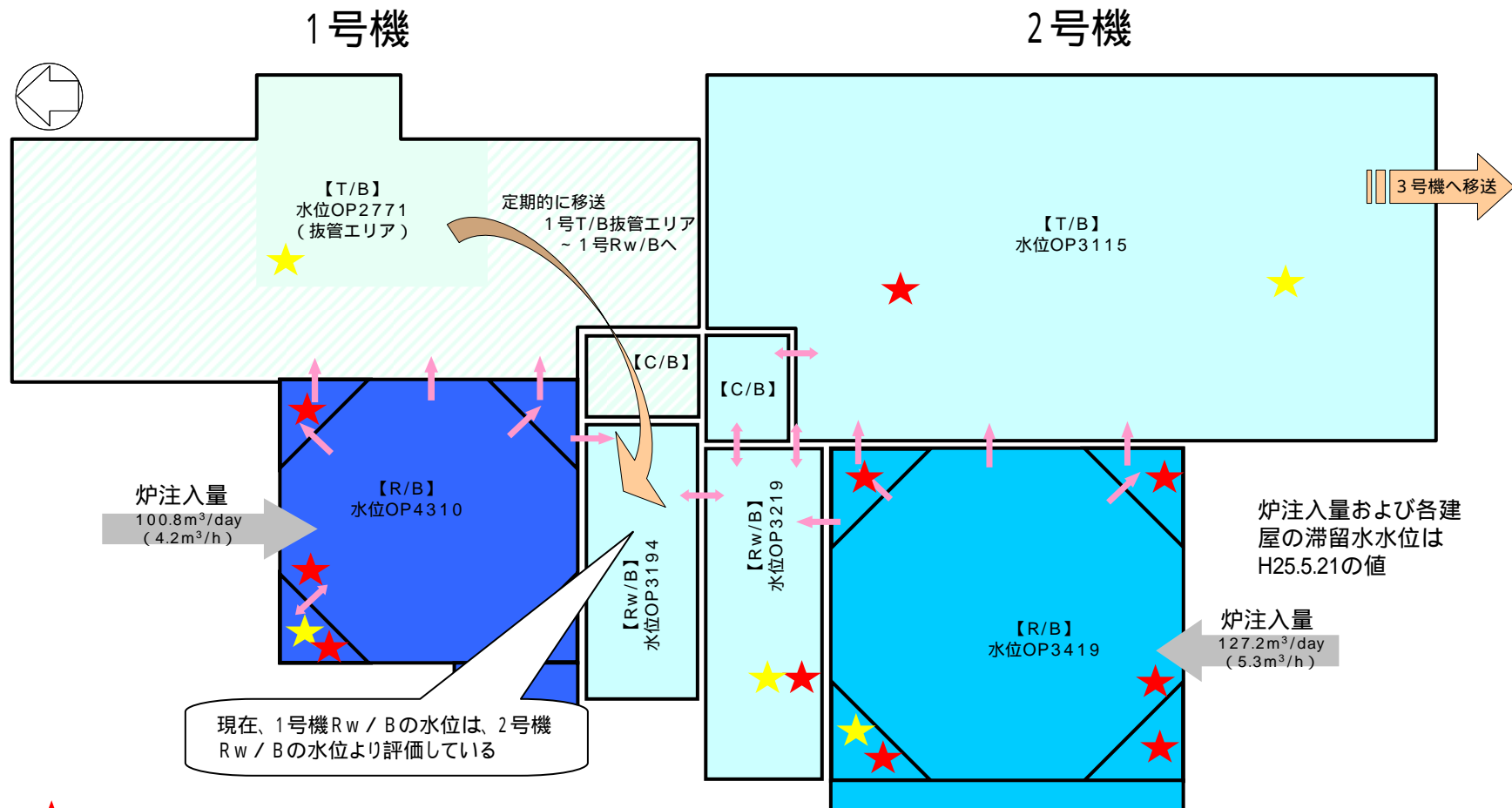
< 水位データ評価の例(水位の時間遅れの確認) >



< 水位計設置箇所 >

場所		1号機		2号機		3号機	
		追設	備考	追設	備考	追設	備考
R/B	トーラス室		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される (R/B1階床穴明け箇所より投入)		PCVからの漏えいおよびT/Bへの漏水が予想される
	北東三角コーナー		9月の調査で北西三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい		壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある		壁貫通部からT/B、Rw/Bへ漏水している可能性がある
	北西三角コーナー		9月の調査で北東三角コーナーとの水位差が確認されたため、設置が望ましい		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある
	南東三角コーナー	×	Rw/Bへの流出があると推定しているが、現状アクセス困難なため設置不可		壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある		壁貫通部からT/Bへ漏水している可能性がある
	南西三角コーナー	×	現状アクセス困難なため設置不可		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある		隣接するHPCI、RCIC室からの流入の可能性がある
T/B	×	現状水位からは、滞留水は抜管エリアのみと思われる(T/B側壁面は気中)		R/Bトーラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる		R/Bトーラス室、北東および南東三角コーナーからの滞留水の流入が考えられる	
Rw/B	×	2号機Rw/Bとの連絡扉が開いていることから、線量の低い2号機Rw/Bの水位を測定する		R/B北東三角コーナーおよび1号機Rw/Bからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる		R/B北東三角コーナーからの滞留水の流入、T/Bへの流出が考えられる	
設置箇所数		計3箇所		計7箇所		計7箇所 (設置時期等は今後検討)	

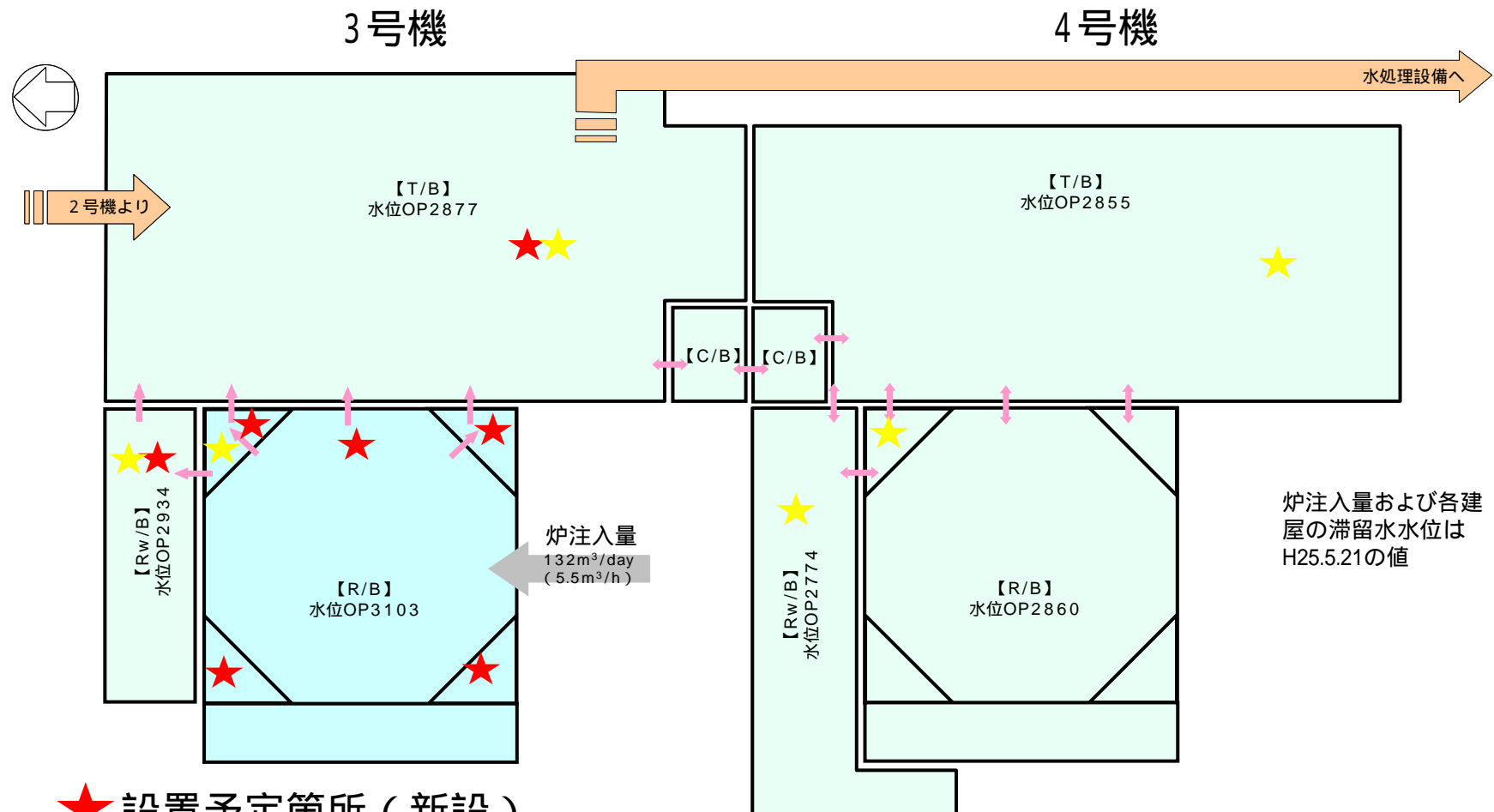
< 1, 2号機 設置予定箇所 >



- ★ 設置予定箇所 (新設)
- ★ 設置済み箇所 (既設)
- 滞留水の移動 (想定)

設置作業における被ばく線量を抑制するため、設置作業性に優れた投げ込み式の水位計の内、1, 2号機での環境において耐放射線性に問題のない水位計を選定し設置

< 3号機 設置予定箇所 >



- ★ 設置予定箇所（新設）
- ★ 設置済み箇所（既設）
- 滞留水の移動（想定）

3号機については高線量であることから、「1, 2号機の水位計設置作業の実績」および「今後の3号機の線量低減対策」を踏まえ、設置に伴う被ばく線量を評価したうえで、設置について判断する

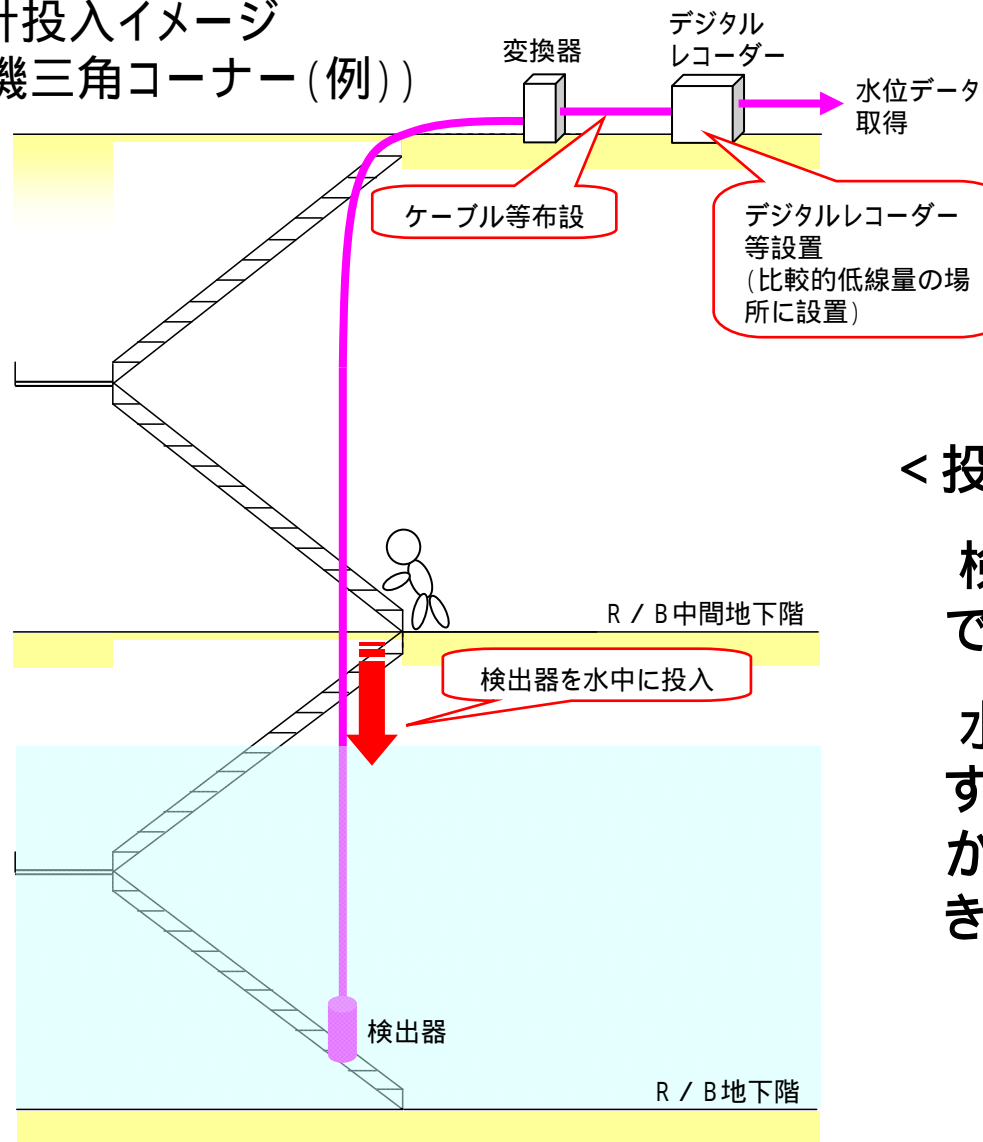
<スケジュール(案)>

号機	項目	5月				6月			
1号機	水位計準備・搬入			水位計納入					
	ケーブル類設置 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析
2号機	水位計準備・搬入			水位計納入					
	ケーブル類布設 デジレコ等設置								
	水位計設置								データ採取・分析

< 参考 水位計設置イメージ >

水位計投入イメージ

(2号機三角コーナー(例))



< 投げ込み式水位計について >

検出器部分を水中に投入することで設置が可能

水面付近での高線量作業を考慮すると、投げ込み式であれば設置が容易であり、被ばく線量を低減できる